

INTERVIEW 総務課 秋月 紗恵子

—前職の経歴を教えてください。

前職は金融系の業務に就いており、主に、日本株のディーラーや株式関連システムの開発を行っていました。私が就職活動をしていた頃は投資銀行が学生に人気で、友人たちと就活を進めるうちに私も興味を持ち、法人専門の証券会社に就職しました。

—人事院を知ったきっかけと志望した理由はなんですか？

社会人を経験していくうちに、1社だけで終わってしまうのも、どこかもったいないような気がしており転職を決めました。転職を考え始めた当初は同じ業界や、他業種で金融を担当する部署などを想定していましたが、登録していた転職サイトのリコメンドで人事院が出てきたことで選考採用について知りました。学生時代に国家公務員になりたいと思っていたこともあり、また、働いていて労働経済学の分野にも興味が出てきたので転職先としておもしろそうだと思いました。

—現在の業務について教えてください。

現在は広報室で記者対応や広報誌（人事院月報）の作成等に取り組んでいます。記者の方とお話ししたり、様々な分野の方にインタビューさせていただく機会があり、知識の広がりを実感することができます。これまでの経験が直接活きる分野の業務ではありませんが、意思決定のプロセスは前職と似たものを感じており、あまり戸惑うことなく仕事に入っていたように思います。職場の皆さんはまじめで親切な方が多く、中途採用の方がなじみやすい雰囲気があると思います。

インタビューメモ

お子様を育てながら業務を行っている秋月さん。フレックスタイムやテレワークを使い、ワークライフバランスを実現しているそう。



—前職と変化したことはありますか？

フレックスタイムを活用できるようになったことで、有給休暇の使い道の幅が広がったり、メリハリをつけて働けるようになったことが、子育てをしている私にはとてもありがたいものでした。

また、人事院は女性職員の割合が多く、管理職やリーダーの立場にある女性職員の比率も高いように感じました。多くのロールモデルに触れられることや、職場での両立に対する理解がとて高いところが人事院の良いところの一つだと思います。

—今後のキャリアプランを教えてください。

デジタルの知識や、育児をしながら働くことで見えてきたこと、金融の知識、などこれまでの経験で得てきたものは様々あります。今後異動を重ねる中で、それらの経験をいかし、さらに伸ばしながら、広く、そしてできるだけ深く知識やスキルを身に付けていきたいと思っています。VUCAの時代と言われてしばらくとなりますが、多くのことを関連付けながら課題を見出し解決していけるような行政官になることを目指していきたいです。

—この記事を読んでいる方にメッセージをお願いします。

民間でも公務でも、目標に向かって邁進するという本質的なところはどんな仕事でも同じだと思っています。民間企業勤務の方も、自らハードルを置くことなく、ぜひ公務にも挑戦して、社会人としての幅を広げてみてはいかがでしょうか。

休日の過ごし方

子どもの習い事に付き添ったり、家事を片付けたりしています。もう1日の休みで、乗り鉄を楽しんでいます。



1日のスケジュール

9:00 出勤

フレックス勤務で9:00に登庁することが多いですが、家族の都合に合わせて柔軟に変えています。

10:00 人事院月報の取材

人事院月報では人事行政に関連する分野で活躍される著名な方や研究者、他の省庁で活躍する国家公務員についてインタビュー記事を掲載しています。霞ヶ関隈限だけでなく、現地まで出かけることもあります。

14:00 記者レク

記者レクで説明を行うのは制度を作ったりする部署の職員ですが、同席して進行をサポートしたりしています。

16:00 人事院月報の閲覧データの分析や次号の企画

HPに掲載している人事院月報デジタルブックの閲覧データを取得し、分析することでどのような読まれ方をしているか把握するようにしています。ここでの分析を基に次号以降の企画を考えたりします。

17:00 頂いた意見の伝達

人事院や官邸HPに送られてきたご意見を担当する部署に振り分け伝達し、必要に応じて返信を行っております。

17:45 退庁

子供3人のお迎えに向かいます。お迎えがあるので残業することはほとんどありません。